

教科	国語	学年	1年	標準授業時間数	140時間(週4時間)
----	----	----	----	---------	-------------

目 標	教科目標	様々な文章を読み、内容を読みとる力や自分の考えを適切に書いたり話したりする力を養うとともに、言葉に対する感覚を磨き日常の言葉を大切にすることを態度を育てることを通して、ものの見方や考え方を広げよりよく生きるための豊かな力を育む。
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に取り組み、国語に対する興味や関心を高めることができる。</li> <li>・自分なりの考えを持って、相手にわかりやすく伝えようとすることができ、また相手の考えを理解しようとしながら聞くことができる。</li> <li>・自分が伝えたい事柄や考えを、適切な表現で文章にまとめることができる。</li> <li>・いろいろな文章を読み、内容を的確につかむとともに自分のものの見方や考え方を広げることができる。</li> <li>・国語に関する基礎的な事項や知識を身につけることができる。</li> </ul>

評 価 点 数	観 点	国語への関心 ・意欲・態度	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容に興味を持ち意欲的に学習活動にとりくもうとする。</li> <li>・提出物をきちんと完成し期限を守って提出できる。</li> </ul>
		話す・聞く 能力	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを大切に聞き手にわかりやすく伝えようとする。</li> <li>・話し手の考えを自分の考えと比べながら聞き取ろうとする。</li> <li>・詩や文章を工夫して朗読しようとする。</li> </ul>
		書く能力	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えが読み手に十分伝わるような文章を書こうとする。</li> <li>・テーマにそって自分の考えをまとめ、文章に書き表そうとする。</li> </ul>
		読む能力	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書の構成や展開、表現のすばらしさに注意して読もうとする。</li> <li>・文章に表れているものの見方や考え方をつかみ、自分の考えを持つ。</li> <li>・読みとったことをもとに、自分のものの見方や考え方を広げようとする。</li> </ul>
	言語について 知識・理解 ・技能	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書きができる。</li> <li>・ことばのきまりがわかる。</li> <li>・文章の中での語句の意味がわかる。</li> <li>・古文についての基本的な事項がわかる。</li> <li>・文字の配置やバランスを考え、読みやすい字で丁寧に書くことができる。</li> </ul>	
材 料	各種提出物の内容・ノート内容・作文や作品の内容・朗読・スピーチ・定期テスト・小テスト・授業観察			
方 法	評価材料を観点別に基準に従って評価し、それぞれの結果を総合的に判断する。			

学 習 方 法	使用教材	教科書(光村図書)・書写教科書(東京書籍)・国語便覧(浜島書店) よくわかる国語の学習(明治図書)・単元別漢字(秀学社) (平成18年度使用副教材)			
	学習形態	1クラスを半分に分けた少人数クラスによる(はつらっプラン)学習を基本的に教室と学習室に分かれて行う。一斉学習・小グループでの学習。 学習内容によっては合同でTTにより行う。			
	学 習 の 進 め 方	<table border="1"> <tr> <td>学 校</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業に集中して取り組む。</li> <li>・提出物の期限は守る。</li> <li>・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えは挙手してはっきりと述べる。</li> <li>・黒板に書かれたことをきちんとノートに記録し、さらに書き方を工夫するなどして使いやすい自分のノートを作るようにする。</li> <li>・授業で配られたプリント類はノートに貼って整理する。</li> <li>・「朝の読書」に積極的に取り組むようにする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>家 庭</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書をくり返し音読したり、黙読したりして確実に読めるようにする。</li> <li>・わからない漢字や語句があれば辞書を利用して調べるようにする。</li> <li>・漢字練習帳を利用して毎日漢字練習をし、週1回提出する。</li> <li>・「基礎の学習」を利用して復習をする。</li> <li>・国語便覧を利用し、国語についての幅広い知識を身につけるようにする。</li> <li>・読書する時間や新聞を読む時間を持つようにする。</li> </ul> </td> </tr> </table>	学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業に集中して取り組む。</li> <li>・提出物の期限は守る。</li> <li>・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えは挙手してはっきりと述べる。</li> <li>・黒板に書かれたことをきちんとノートに記録し、さらに書き方を工夫するなどして使いやすい自分のノートを作るようにする。</li> <li>・授業で配られたプリント類はノートに貼って整理する。</li> <li>・「朝の読書」に積極的に取り組むようにする。</li> </ul>	家 庭
学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業に集中して取り組む。</li> <li>・提出物の期限は守る。</li> <li>・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えは挙手してはっきりと述べる。</li> <li>・黒板に書かれたことをきちんとノートに記録し、さらに書き方を工夫するなどして使いやすい自分のノートを作るようにする。</li> <li>・授業で配られたプリント類はノートに貼って整理する。</li> <li>・「朝の読書」に積極的に取り組むようにする。</li> </ul>				
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書をくり返し音読したり、黙読したりして確実に読めるようにする。</li> <li>・わからない漢字や語句があれば辞書を利用して調べるようにする。</li> <li>・漢字練習帳を利用して毎日漢字練習をし、週1回提出する。</li> <li>・「基礎の学習」を利用して復習をする。</li> <li>・国語便覧を利用し、国語についての幅広い知識を身につけるようにする。</li> <li>・読書する時間や新聞を読む時間を持つようにする。</li> </ul>				

学習内容

月	単元名・項目	時数	学習のポイント
4	新しい世界へ 野原はうたう	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩の作者である生き物になったつもりで心情や、ものの見方をとらえる。</li> <li>思いが伝わるように朗読し合う。</li> <li>朗読する上での工夫点や注意点を理解する。</li> <li>登場人物の心情や行動から、気持ちの変化をとらえる。</li> </ul>
	声を届ける にじの見える橋	4	
5	言語 1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉と書き言葉の違いを知り、その使い方を考える。</li> <li>漢字の組み立てに注目し部首を理解する。</li> <li>漢和辞典の使い方慣れる。</li> <li>自分の考えをわかりやすく伝えたり、話し手の意図を考えながら聞きとる。</li> <li>筆使いに注意して丁寧に書く。(楷書)</li> </ul>
	漢字 1 (漢字の組み立てと部首)	1	
6	<b>発見したことを伝えよう</b>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の考えをとらえ、ものの見方を考える。</li> <li>筆者の論の展開をとらえ、内容をつかむ。</li> <li>文章や文、文節について知る。</li> <li>混同しやすい漢字について違いを理解する。</li> <li>必要な情報を選び、わかりやすい文章を書く。</li> <li>筆順を確かめながら字形を整えて書く。(楷書)</li> <li>詩の言葉の豊かさにふれ、いろいろな読み方を考えて朗読し互いに聞き合う。</li> <li>作品を読み、印象に残った場面を発表しあう。</li> <li>さまざまな本を読む楽しさを知る。</li> </ul>
	<b>書写</b> <b>視野を広げる</b> ちょっと立ち止まって クジラたちの声 文法の広場 1	3	
	漢字 2 (混同しやすい漢字)	4	
	<b>わかりやすく説明しよう</b>	2	
7	<b>書写</b> <b>豊かな言葉</b> 光と風からもらった贈り物	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆順を確かめながら字形を整えて書く。(楷書)</li> <li>詩の言葉の豊かさにふれ、いろいろな読み方を考えて朗読し互いに聞き合う。</li> <li>作品を読み、印象に残った場面を発表しあう。</li> <li>さまざまな本を読む楽しさを知る。</li> </ul>
	<b>本の世界を広げよう</b> さつき 読書案内・読書活動	3	
9	<b>心の歩み</b> 表わら帽子 大人になれなかった弟たちに…	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の展開にそって情景や心情をとらえ、登場人物の気持ちを読み取る</li> <li>表現に着目して作者の思いをとらえ、伝えたいことを考える。</li> </ul>
	手紙を書こう	4	
10	<b>書写</b> 言語 2 漢字 3 (漢字四字の熟語)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙の書式を知り、用件を決めて書く。</li> <li>全体のバランスを考えて書く。</li> <li>漢語、和語、外来語の特徴や使われ方を理解する。</li> <li>文脈に即して四字熟語の意味や用法を理解する。</li> <li>グループで考えを述べあい、意見をまとめる。</li> <li>古文の仮名遣いに注意して音読する。</li> <li>昔の人のものの見方について考える。</li> <li>古文の仮名遣いについて知る。</li> <li>音読して漢文独特のリズムを味わう。</li> <li>故事成語の由来や意味を調べ、短文を作る。</li> <li>筆使いや字形に注意して書く。(行書)</li> <li>漢字の音訓について理解し、熟語の多様な読みを知る。</li> </ul>
	<b>話し合ってみよう</b> <b>古典との出会い</b> いろは歌 蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉	5	
11	<b>書写</b> 漢字 4 (漢字の音訓)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成や展開をとらえ、筆者の考えをつかむ。</li> <li>興味や関心のあることについて詳しく調べ、レポートにまとめる。</li> <li>文の組み立てについて知る。</li> <li>適切な辞典を用いて語句を調べる。</li> <li>作品を読み、印象に残ったことを発表しあう。</li> <li>さまざまな本を読む楽しさを知る。</li> </ul>
	<b>真実を語る</b> 未来をひらく微生物 調べたことを正確に伝えよう	5	
12	文法の広場 2 漢字 5 (辞典を活用しよう)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字と仮名の調和を考えて書く。</li> <li>登場人物の心情の変化をとらえながら、生き方について考える。</li> <li>自分の体験をもとに表現を工夫して書く。</li> <li>指示する語句と接続する語句の働きを理解する。</li> <li>漢字の成り立ちを理解する。</li> <li>文字の配置とバランスを考えていろいろな書式で書く。</li> </ul>
	<b>本の世界を広げよう</b> 江戸からのメッセージ 読書案内・読書活動	1	
1	<b>書写</b> <b>自分を見つめる</b> 少年の日の思い出 体験を伝え合おう	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字と仮名の調和を考えて書く。</li> <li>登場人物の心情の変化をとらえながら、生き方について考える。</li> <li>自分の体験をもとに表現を工夫して書く。</li> <li>指示する語句と接続する語句の働きを理解する。</li> <li>漢字の成り立ちを理解する。</li> <li>文字の配置とバランスを考えていろいろな書式で書く。</li> </ul>
	文法の広場 3 漢字 6 (漢字の成り立ちと意味)	5	
2	<b>書写</b>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの言葉について、課題をみつけてグループで調べ発表する。</li> <li>筆者の考えを理解し、自分に影響を与えた人や言葉との出会いをふり返る。</li> </ul>
	<b>生活と言葉</b> 言葉を探検する 大仏様は「にっこり」しています 胸の底の人と言葉たち	6	
3		2	
		1	
		3	
合計時間数		140	